

## 359その他の電気設備を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	12	17~18	厨房にて、フード（換気扇）のメンテナンスをしていた際、フライヤーの上に厚さ1cm程の厚板をのせて、その上に立ってメンテをしていたところ、突然板が割れてしまった。その際、まだ熱かったフライヤーに左足が入り、踝を火傷した。	16	11	140201	100~ 299
2	2017	12	9~10	自社工場内倉庫において、照明スイッチを押した後、振り返りざまにバランスを崩してふらつき、その際、保管してあった工業用扇風機の脚につまずき、右手を挙げた状態のまま転倒し、右肩を強打した。（倉庫奥の作業用品をとりに行く途中だった。）	59	2	11209	10~ 29
3	2017	11	11~ 12	訪問入浴介護サービスにて、お客様宅駐車場で準備作業中、排水のモーターを持ち上げ、右手を持ったまま台から下に降りそうとした際に、手首が引っ張られた感じで違和感があり負傷した。その後痛みが出て来て病院へ受診した。（右手首炎症）	39	19	130201	1~9
4	2017	10	17~ 18	経理部内にて、パソコンでの入力業務を終え、自分の席に戻ろうとしたところ、コンセントカバーに躓き、右手で持っていたカートごと転倒した。	62	2	80201	500~ 999
5	2017	10	13~ 14	水産現場内でロータリー包装機清掃作業時、機械内に残った袋を取り除く為、黒い配線パイプを跨いだ状態で取り除き、右足を戻そうとしたところ、黒い配線パイプに右足が引っ掛	59	2	10101	100~ 299

				かり、バランスを崩して転倒した。その際、左手首を床に着いて被災した。				
6	2017	10	10~11	当該事業所において昼食の味噌汁を配膳車に盛り込みしていたところ、頭上にあった配膳車の電源ケース（4kg）が落下し、おでこ・頭部を打撲、首をむち打ちしてしまった。	59	4	80209	10~29
7	2017	8	15~16	機械の工場内にて、1人で防霜ファン（約30kg）の作動確認中、しゃがんだ姿勢で、羽根を取った防霜ファンの回転及び首振り状態を見ていた際、防霜ファンが左側に倒れそうになったので、思わず左手（手袋装着）で止めようとしたところ、回転中のシャフトを触ってしまい左手を捻った。そのときは痛みも少なく、そのまま仕事を続けたが、帰宅後に痛みがひどくなったため受診したところ、左手示指の筋が切れていた。	63	7	80209	1~9
8	2017	7	11~12	店舗更衣室に設置されている冷凍庫がエラー表示になっていたため、冷凍庫上部に右手をかけて天井のコンセントを抜いた際、バランスを崩しステンレス部分で右手薬指の第2関節部を切った。	35	8	140201	10~29
9	2017	7	18~19	イベント終了後、作業員が解体を始めステージトラス上で電飾付きパネルを撤去中に配線用ケーブルを持ち、吊りワイヤーを切断したところ、コネクタより機材本体が外れステージ上に電飾付パネルが落下し、機材が破損し飛散した一部がステージ裏下で作業していた作業員のヘルメット頭頂部にあたり負傷した。	20	4	30209	1~9
10	2017	7	9~10	会社倉庫入口の扉（重さ約130kgの鉄製板製）を塗装修理するため、レールからはずし、下に角材を入れて、3人でゆっくり扉を下に降ろす作業をしていた時、途中でバランスが崩れ、すぐ離れるよう声をかけられたが間に合わず、左足の甲に落ち、ヒビが入った。	57	8	170209	30~49

11	2017	6	10~ 11	お客様宅で掃除中、電気コードに足が引っかかり転倒し、左足首を捻ってしまった。	76	2	130201	30~ 49
12	2017	6	9~ 10	事業所の資材置き場にて、現場工場が無いので資材の片付け作業をしていたところ、立てかけたブロックが倒れてきて、右足に当たり打撲した。足を引き抜いた際に裂傷を負った。	23	4	11409	—
13	2017	4	10~ 11	冷蔵庫の外枠を寝かせた状態で天面部分に庫内とドアをつなぐ線を取り付ける作業工程でラインスピードに追われることが多く、その工程先に内箱挿入機（設備）のスイッチボックスの角にスタッフの背中が何度か衝突していた。当初は作業姿勢による筋肉痛だと思ったが、痛みが治まらなかった。	40	3	170101	300~ 499
14	2017	3	16~17	自社作業所内で、シャッターケースの組立作業をしていた際、配線カバーにつまずき左足を捻った。	27	19	11209	10~ 29
15	2017	2	14~15	売場レジにてチェックアウト業務を行っている時、お客様が持ってきたショッピングカート下段に入っていた350ml缶のビールケース（レジ右側）をしゃがんで両手で持ち、レジ中央部のスキャナーに持ち上げようとした。この時、以前から鈍痛を感じていた左肩に強い痛みを感じた。痛みを耐え業務を終えたが、痛みが増してきたので店員に報告した。	36	13	10801	100~ 299
16	2017	1	12~ 13	検査室内において、製品の電気漏れ確認のため機器（絶縁耐圧絶縁抵抗計）を設定していたとき、output側から垂らしていたリード線のワニ口クリップに右拇指が接触した際に感電し、右拇指から肩にかけて負傷した。	47	13	11403	—
17	2016	12	10~ 11	原料エリアの解凍機にて、3号発振器の冷却ファンに潤滑スプレーで注油していたところ、発振器に流れている電気に発振器を通電した状態で作業していた為、発振器上部カバーを開け冷却ファンに潤滑スプレーで注油しようとした際に、スプレー容器に放電し、それを持っていた作業者が感電した。	47	13	10109	300~ 499

				その反動で解凍機上部より転落し、負傷した。				
18	2016	12	12～ 13	惣菜作業場で鉄板材料を腰をかがめて手に持ち、片付けるため通路を前を見ないで歩いている時、洗浄機の扉が開いていることに気付かず、扉の角に頭をぶつけ、切れてしまった。	42	3	80209	100～ 299
19	2016	11	14～ 15	屋上金属防水工事現場において、道具を取りに行こうと現場内を歩行中、地面に這わせていた電源コードに足を引っ掛けてバランスを崩して前のめりになり、電源コードの前方に置いていた箱樋で左足を強打し受傷した。	22	2	30202	1～9
20	2016	10	13～ 14	電気集塵機ホッパーにおいて、ホッパー内部のダストをバキューム車にて吸引作業を開始した。ホッパー内部の側面と仕切板の間にダストの居付きがあるため、ホッパー内部の上部より水ホースで居付きを溶かし、ホッパー下部よりバキュームホースで吸引していたが、バキュームホースが内壁に吸着してしまったので、引き離すためにタラップを降りて行き、マグナスホースを引き離そうとした際、崩落したダストを背後からかぶって被災した。	40	11	11001	10～ 29
21	2016	10	11～ 12	B2階のII系所内キュービクルの上で被災者他2名とともにサイリスタ出力用断路器からケーブル接続箱間に22kvケーブルを所内キュービクル裏のケーブルラック最上段に敷設後、延線ローラーをII系からI系所内キュービクルへ移動しながら撤去している時にII系、I系所内キュービクルの間に安全帯のフックを外した状態で、次の延線ローラーを撤去するため移動中、II系所内キュービクルの端に気付かず、足を踏み外して墜落した。	27	1	30302	1～9
22	2016	9	10～ 11	道路側辺で防犯灯の取替作業のため、ポールにハシゴを立てかけ、胴網を装着して作業中、ポールの根腐れにより、ポールごと倒れ負傷した。	53	5	30301	1～9
				1Fホールにて天井ボードをめくり天井裏に上り空調工事の準				

23	2016	9	15～ 16	備調査中、照明器具が漏電していて寸切ボルトを通じて右腕から感電した。	43	13	30309	10～ 29
24	2016	9	17～ 18	カートニングマシンにてギフト用のコーヒーを製造中、ホットプリンターの印字テープが終了したため、設備停止を行い、印字テープの交換を実施した。その際、ホットプリンターのヒーター部に電気配線がむき出しになっていた箇所があり、そこに左手首が接触したことにより感電した。	43	13	10109	100～ 299
25	2016	9	11～ 12	太陽光パネルのモジュールを組立てする作業を、2ヶ所の現場を往復するような形で行っていたところ、現場内に置いてあった扇風機のコンセントに足が引っかかり転倒してしまい、左腕のひじを骨折した。	51	2	170101	30～ 49
26	2016	9	11～ 12	太陽光発電用パワーコンディショナのユニット組立作業中、組立ラインが2つあり、作業者が扇風機の本体のみ隣のラインへ移動し、配線が床をはっていた状態で、作業者が手待ちになり、隣のラインに移動し、その後再び元のラインに戻る際、誤って床をはっていた配線に足を掛け、前のめりに転倒し左腕を骨折。	51	2	11403	100～ 299
27	2016	8	8～9	作業を行うため、油圧ポンプのブレーカーを現場担当者に切ってもらい、切ったブレーカースイッチを作業中に入れられないよう、被災者が南京錠で施錠しようとしたところ、南京錠を落としてしまった。その南京錠が主電源のケーブル端子に接触した瞬間、スパークが発生し、その熱で両手・顔を熱傷した。	23	13	30302	1～9
28	2016	8	6～7	病棟にて、病室巡回時に、入院患者に依頼されてティッシュをとろうとした際、棚に設置されたテレビにつなげられたイヤホンコードに足が引っかかり、床に転倒した。	53	2	130101	300～ 499
			11～	2階東側の足場上で外壁構造用合板に、電動ドリルで穴あけ				

29	2016	8	12	作業中、ドリルの固定があまかった為、ドリルの回転に引っ張られて右手を捻った。	34	19	30202	1～9
30	2016	7	11～ 12	清掃作業時、バランスを崩し、換気扇の羽に右手が当たってしまい、負傷した。	69	7	10109	30～ 49
31	2016	7	17～ 18	事業場内の钣金班工場で、カーボンヒーターでパテの乾燥作業を終えて、電源を切った状態で、片づけのためカーボンヒーターを右手で移動させている時に、左足がフレーム修整機に触れた途端に感電した。	32	13	11701	10～ 29
32	2016	6	11～ 12	現場にて、2階建物内の天井についていた既設の照明器具であるウォールウォッシャーを外す作業を行ったところ、持った照明器具の重さに耐えきれずバランスを崩し、照明器具を持っただまま前に倒れこみ、左の肘あたりを骨折した。	39	1	30201	1～9
33	2016	5	7～8	事業所にて、夜勤明けに所内の掃除を行うため掃除機をかけていたところ、コードが椅子に引っかかったため、コードを外そうと振り向きざまに踏み出した際、ホースの上に足が乗り、前のめりに滑って転倒し左手を床に強打し、肘を骨折した。	54	2	130201	10～ 29
34	2016	5	12～ 13	催事場の店内で、フェア陳列作業時、ディスプレイ用大型テレビを床で2人で組み立て作業中、テレビ上部を持っていた担当者の手が滑り、テレビを落としてしまい、右手薬指がテレビと固定台に挟まれて骨折した。	50	4	170209	30～ 49
35	2016	4	9～ 10	工場内で機械加工の作業を行っていた。加工の際に出たスクラップ材を、ゴミ捨て場へ廃棄し作業場所へ戻る途中、ストーブのコードに足を引っ掛け転倒、右膝を負傷した。	51	2	11403	30～ 49
36	2016	4	14～ 15	ガス工事現場にてトラックを誘導中、置いてあった発電機を移動させようと持ち上げた際、腰椎を骨折した。	55	19	170201	100～ 299
				施設内の浴室にて入居者の入浴介助に入る時に、キャリアに				

37	2016	3	17～ 18	入居者を移乗した後、付属のバッテリーの確認をした。バッテリーが反対に入っていたので、いったん取り外し向きを変えようとしたところ手がすべり、バッテリーを左足の甲の上に落としてしまった。	24	4	130201	100～ 299
38	2016	3	12～ 13	事務室にて、移動中に配線コードのカバーにつまずき、転倒したことにより左膝を骨折した。	56	2	130201	500～ 999
39	2016	2	14～ 15	保育室内にて、ベッドの拭き掃除をしていた際、ホットカーペットのスイッチ部分を踏み誤って左足小指を引っかけ骨折負傷した。	59	3	130201	10～ 29
40	2016	2	11～ 12	デイサービスの脱衣場にて掃除機をかけている時に、利用者がうがいをしに来たため、利用者がつまずかないようにと思い急いで掃除機のホースを片付けようとした際に、利用者とのホースに気をとられて、体勢を崩して前方に向かって転倒して床に手をついた。	60	2	130201	30～ 49
41	2016	2	8～9	清掃回収車にて、学校前の電柱側一般集積場所を収集し、その後校舎側のバケツのごみ収集に行く際、誤って一般集積の電柱に付随してある配線等に頭部が接触し負傷した。	24	3	150109	10～ 29
42	2016	2	17～ 18	不織布製品の生産開始前の機器清掃作業においてローラーシャフトに巻き付いた風綿を清掃器具で取り除こうとしたが、設備のシャフト軸部に付着していた風綿が取りきれなかったため、床に設置されたモーター配線BOXをステップ代わりにして乗り、左手で風綿を取ろうとした。風綿を取り除いてから配線BOXから降りようとした際に足元が滑り配線BOXから踏み外して後ろ向きに倒れ、背後の足場支柱のクランプに背中をぶつけ受傷した。	53	1	170101	100～ 299
				不織布製品の生産開始前の機器清掃作業においてローラーシャフトに巻き付いた風綿を清掃器具で取り除こうとしたが、設備のシャフト軸部に付着していた風綿が取りきれな				

43	2016	2	17～ 18	<p>かったため、床に設置されたモーター配線BOXをステップ代わりにして乗り、左手で風綿を取ろうとした。風綿を取り除いてから配線BOXから降りようとした際に足元が滑り配線BOXから踏み外して後ろ向きに倒れ、背後の足場支柱のクランプに背中をぶつけ受傷した。</p>	53	1	40302	10～ 29
44	2016	2	18～ 19	<p>殺菌灯管球交換時に消灯措置をせずに球替えを行い、交換後も殺菌灯の点灯状態で器具復旧を行った。殺菌灯を長時間直視した結果、夜間になり目が痛み出した。</p>	34	12	150101	500～ 999
45	2016	1	15～ 16	<p>工場内炉早期始動バーナー前において、バーナー着火テストの前準備としてパイロットバーナー先端の電極の隙間の確認を3人の作業員で行っていたところ、電極の隙間が規定から外れていたため、電極の隙間調整と火花確認を繰り返し行っている時に、制御盤のスイッチ操作者と先端を調整していた被災者とのタイミングがずれ、誤って電極に電流が流れ、感電被災した。</p>	43	13	150103	50～ 99
46	2016	1	10～ 11	<p>厨房で、給食開始前の清掃作業中に、スチームコンベクションオーブン内部のファンカバーを清掃の為に取り出すときに、ファンカバー上部のコの字型の部分をつまんだところ、該当部分の先端が鋭くなっていた為に、右手親指の付け根を負傷した。</p>	38	8	80209	1～9
47	2016	1	22～ 23	<p>盛付室でライン作業者の服をローラー掛けしているときに、弁当の帯フィルム機のコードに足を引っ掛けて転倒し、左胸を強打した。</p>	68	2	10109	300～ 499
48	2015	12	16～ 17	<p>店頭でコーヒーポットをサービス台の下に入れようとしていた手から滑り落ちそうになり、ポケット内のコーヒーが左足の甲の部分にかかり熱傷を負った。</p>	36	11	80209	1～9
49	2015	12	11～ 12	<p>店内にてショーケース整理中に床にあった家電製品のコードに足を引っ掛けて転倒。</p>	52	2	80209	10～ 29



50	2015	12	14～ 15	中間試験機にて、手動でステータにサージ電圧を掛けていた。電圧を止めずにステータコアに手を置くと同時に、当日ゴムカバーが破れてしまった鰐口クリップを触り、数秒感電してしまった。	44	13	11401	100～ 299
51	2015	11	15～ 16	レジにて業務中、レジに設置されているハンドスキャナーのコードに足を引っ掛け転倒、負傷。	50	2	80209	50～ 99
52	2015	11	9～ 10	場内整理中、発電機を移動するため被災者が発電機に上り玉掛けを行った。ワイヤーの緩みを取るため、合図者は巻き上げの合図を送り、合図に従ってクレーン運転者が少し吊り上げたところ、発電機が揺れてしまった。被災者は揺れたはずみで足から転落し、右足と左耳に負傷した。	56	1	30209	30～ 49
53	2015	11	20～ 21	店内で業務に使用するヘアアイロンの電源を入れ直す為に持ち上げた時、落としそうになり慌てて受け取った際に、両手の指を高温の箇所に挟んでしまい火傷した。	22	11	80301	10～ 29
54	2015	10	7～8	炊飯器から飯盛機へ米を移す際に、炊飯釜に右腕が触れてしまい火傷を負った。	42	11	140201	1～9
55	2015	10	11～ 12	内臓外し工程にて作業していたところ、上部にある蛍光灯が落下し、左肩に接触した。	48	4	10101	100～ 299
56	2015	9	18～ 19	洗濯機・乾燥が終了した作業着を洗濯機から取ろうとし、洗濯機扉を開けた。開けたと同時に蒸気煙が出てきて、それに驚いた被災者が後ろに下がった際に右足首を捻った。	53	19	170101	300～ 499
57	2015	9	23～ 24	夜勤中にお茶を入れようとして休憩室へ行ったところ、何か焼ける臭いとわずかな煙が発生していたため、直ぐに喚起しようと窓を開け、煙の発生源と思われる電気ポットを調べていた際、建物の外で爆発が発生し、その際、強大な音と空気の圧力波に曝され、左耳を負傷した。	51	14	170209	1000 ～ 9999
				変圧器2台の取替え工事中、同じ場所に3台横ならびになって				

58	2015	8	9～ 10	いる変圧器3台のうち取替える変圧器2台のみを停電し、1台は製造ラインの為送電してあった。変圧器Tr41より解体作業を始めた。次の作業の効率を考え被災者は先の変圧器Tr43の解体作業をし感電した。	48	13	30309	30～ 49
59	2015	7	10～ 11	車のバッテリー交換中に、誤ってバッテリーが落下し、けがをした。	33	4	11301	1～9
60	2015	6	9～ 10	プレス作業中、扇風機を使おうとしてコンセントに差し込んだとき、突然ショートし、右手人差し指を火傷した。	39	13	11509	30～ 49
61	2015	5	18～ 19	厨房内の洗浄室で可動式のカートを移動させていたところ扇風機が足にあたり、つまずいて膝から転んだ。	54	2	80209	100～ 299
62	2015	4	11～ 12	解体工事で建屋の床に散乱しているボード片を清掃作業中、分電盤が邪魔かつグラツキがあったため、開けた扉と本体の隙間に指を入れ倒そうと踏ん張ったところ、Pタイル上のボードに乗ってしまい足が滑り転倒、閉まってきた扉と本体の間に指を挟まれ負傷した。	42	2	30209	10～ 29
63	2015	4	20～ 21	現場内において被災者が1人でエンジン式投光機を移動しようとしたところ既設舗装面と施工面との段差により投光機が倒れ、投光機を支えようとした被災者も転倒し背中を強打した。	19	6	30104	10～ 29
64	2015	3	12～ 13	事務所にあるコピー機を別の場所に移動させようと一旦机に仮置きした際に、コピー機の足元が滑り右足小指を負傷する。	38	4	30201	10～ 29
65	2015	3	11～ 12	シャーリングにてフラットバーを切断しようとして前かがみになって切断面を見ていたところ、上部にある蛍光灯が頭の上に落下してきて、負傷した。	55	4	11209	10～ 29
66	2015	2	11～ 12	デイサービス施設内の浴室で、要介護高齢者の入浴介助中に浴室の照明機器のガラスカバーが突然落下して、割れたガラ	36	4	130201	10～ 29

				スが介助中の足に飛んで、右足中指を切創してしまった。				
67	2014	12	14～ 15	受変電設備のメーター検針終了後、次作業で階下へ向かおうとした際、ケーブルダクト上に乗って移動しようとして、ダクトの上に右足を乗せ勢いよく体重を掛けたところ、頭からダクト上に前回転してダクト下へと転げ落ち、頸椎を損傷した。	64	1	170209	1～9
68	2014	12	16～ 17	4 Fにある1日写真室にて、婚礼衣装のメンテナンスを終え、後片付けをしている最中に事故が発生しました。スチームアイロンの水抜きを行おうとバルブを捻ったところ、吹き出した熱湯を浴び下腹部から足にかけて火傷を負ってしまいました。	57	11	80409	50～ 99
69	2014	12	16～ 17	バッテリーカー（小型遊具）を片付ける際、バッテリーを充電するため、乗り物から外すときに左の肩を痛めたもの。	20	19	140302	30～ 49
70	2014	12	15～ 16	正面玄関ペDESTリアンデッキにて、イベントの様子を高さ70cmの植え込みから写真撮影した後地面に降りる際に植え込みに設置されている電飾モールに気付かず右足を引っ掛けバランスを崩し、左足かかとに全体重がかかる状態で着地をして左足かかとを負傷した。	46	3	80201	300～ 499
71	2014	12	9～ 10	1階事務室内で、解体工が制御盤裏の壁ボードを解体する為、相番者と当該盤を移動させようとしていた時、盤下の台座枕木から盤がずれ落ち盤を支えていた被災者は支え返えそうとしたが盤の重量に負け盤に押される形で後方へ下がったが逃げ切れず右足を挟まれた。	39	5	30201	1～9
72	2014	11	20～ 21	当該事業所において透明トレーを所定の位置に移した後、2台の食器棚に食器が残り食器棚を動かして1台にしようとしたが、後ろ向きのまま下がり床にあったコンセントボックスにつまづき転倒した際に受傷した。	69	2	80209	50～ 99
73	2014	11	16～	飲食店内調理場にて電磁調理器で揚げ物調理を行った後に、電源を切り忘れ揚げ油が発火、バケツにて放水、消火器で消	28	16	140201	1～9

			17	火作業中に大量の煙を吸い込み気道熱傷となった。				
74	2014	11	15～ 16	事業所においてパソコン業務を終えて移動しようとした時、パソコンから出ているスキャナーコードに足が絡まり、膝から倒れて膝を強く打った。	53	7	80209	100～ 299
75	2014	11	13～ 14	自社敷地内にてバルーンテラスターを2tトラックにテールゲートリフターを使って積み込む作業をしている時、テラスターのタイヤのロックを解除してテールゲートリフター部分より荷台の方へ移動させようとしたが、テラスターが落下しそうになり支えようとしたが支えきれず、テラスターと地面の間に右足の太腿が挟まれた。	24	4	80409	1～9
76	2014	10	5～6	工事現場に到着して、作業車荷台から発電機付き投光器を降ろす準備をしていたところ、投光器のタイヤが荷台より外れ投光器が落下しそうになったため、咄嗟に押さえたが投光器に押されて地面に倒れ背中をぶつけた。	49	4	30301	100～ 299
77	2014	9	10～ 11	倉庫内にて運送業者4t車より返却品のコードリールを荷台脇より立姿勢で両手に1台ずつ持ち上げ取り出し返却品置場に置く際に腰を痛めてしまった。	38	19	80409	10～ 29
78	2014	9	23～ 24	店内キッチンにてソテーパン（鍋）の棚を清掃中、電源が入った電磁調理器で加熱されたソテーパンを触ってしまい、右手の平を火傷した。	41	11	140201	30～ 49
79	2014	9	13～ 14	新築工事現場の3階電気室にて、導通試験中に電圧がかかっている銅バーにジャンパー線を接触させ、ショートし火傷を負った。	49	13	30201	50～ 99
80	2014	8	13～ 14	給湯室内において、当番の被災者が社員と来客に出すお茶用のお湯を入れている電気ポットを確認したところ、湯の残りが少なくなっていたので入れ替えのためポットの蓋を開け両手で持ちポットを傾けて流しに残り湯を流す際、誤って左手	20	11	10109	10～ 29

				に湯がかかり火傷をした。				
81	2014	8	14～ 15	引っ越しで不要になった大型冷蔵庫を搬出するため、かがんだ状態から大型冷蔵庫を持ち上げた瞬間、腰部に激痛が走ったもの。	49	19	150102	100～ 299
82	2014	8	8～9	チルドコンテナの温度が高かったため、電源が入っていないのではと思い、コンセントに差し込んである延長コードに触れようとした時、延長コードのアース線に右手が触れて感電した。	44	13	110101	100～ 299
83	2014	7	8～9	タオル用蒸し器のタンクのお湯を落とし水に入れ替る作業時に、蛇口にホースを差し込みバケツに湯を落とす際、ホースがバケツよりはみ出しており、お湯が左足にかかり火傷した。	61	11	130201	50～ 99
84	2014	7	8～9	配送に出発する準備をしている際、壁に据え付けてある電話ボックスに振り向きざまに額を接触させ、裂傷を負ったもの。	27	3	40301	100～ 299
85	2014	6	17～ 18	設備レイアウトを行った際、単相アース線にT相を配線した為、200Vが流れてしまい、漏電状態となった。設備を通常稼動していたが、設備停止時に復旧させようとした上記の者が設備に触れた際に、感電して電撃症による全身の痛み及び火傷を負った。	51	13	11502	30～ 49
86	2014	4	13～ 14	出張で確認のため電線接続作業現場に向かい、安全通路に部品があったため、足場のない経路を通行中に足を踏み外し風管の内筒と外筒の間（幅80cm）に転落（約2m）。脇腹を外筒に強打し骨折した。	49	1	11509	1～9
87	2014	3	12～ 13	高圧盤のPF（パワーヒューズ）が切れているのを発見し高圧盤の一次側にあるジスコン（断路器）を開放。PFを取替後、点検の為に高圧盤の遮断器を動作確認。高圧盤の遮断器を投入したままジスコンを投入操作した為、370kw電動	32	11	10901	100～ 299

				機の起動電流が流れてジスコンが短絡状態になり、そのスパークで顔面、及び首、両手を火傷した。				
88	2014	3	22～ 23	厨房にて下段レンジの清掃を行っていた際、レンジ内がタレで汚れカレー皿がくっついて外れなくなっていたために、力任せの外そうとしたところ手が滑りレンジ上部の角に右手をぶつけて中指と薬指を切創した。	22	8	140201	-
89	2014	3	9～ 10	川の排水機場地下1階の作業用足場解体中、足場の縦軸（建地）を上方作業員から手渡しで受け取る際に上方の照明が視界にはいり目か眩み、建地材を掴み切れずに右足第4中足骨部に落下させてしまい被災した。	17	4	30301	10000 ～
90	2014	3	8～9	当社工場内にて連続洗濯機槽内上部に洗濯物が絡まっていたため、脚立に上がり取り除き脚立から飛び降りた際、勢い余って横にある配電ボックスにぶつかり、右脇腹を痛めたものです。	27	3	11703	100～ 299
91	2014	2	16～ 17	200Vのソケットがコンセントに合うかどうかを確認するため、切断したソケットの部品をコンセントに入れた時、ブレーカーを切り忘れていたので、ショートしてスパークが発生し右手に電流が走り電撃傷を受けた。	46	13	11002	10～ 29
92	2014	1	13～ 14	投光器を敷地内で試運転中、エンジンの掛りが悪かったので点検していたところ、左側の鉄プロペラに左手小指が巻き込まれてしまい、第一関節部に骨折及び切創を負った。	56	7	30209	30～ 49
93	2013	12	12～ 13	診療所入院病棟病室にて、患者の食事の準備中、ベッドのリモコン操作を行っていた際、リモコンより手から足に電気が走った。	32	13	130102	30～ 49
94	2013	12	18～ 19	トラックの荷台から降りる際、荷台に積んであった電工ドラムのコードに足を引っ掛けたまま荷台から飛び降りた為、バランスを崩し、踵を骨折した。	33	3	30105	1～9

95	2013	12	15～ 16	作業ズボンに付着したグリス汚れを落とすため、クレーン整備室内にて、金属部品洗浄剤（スプレー缶）を直接ズボンに吹きかけ、汚れを落とした。その後、電気ヒーターの近くに立ち、窓ガラス越しに外を眺めていたところ、突然ズボンの膝下内側付近より発火した。	30	16	11001	1000 ～ 9999
96	2013	12	19～ 20	1 tトラック(パワーゲート付)の荷台に積んであった工事用灯光器(約300kg)をパワーゲートを利用し2人で地上に降ろす際、灯光器が傾いて倒れ、2人で支えようとしたところ、被災者が下敷きになった。	45	5	80409	1～9
97	2013	11	9～ 10	コンクリート柵にコンクリート側溝を接続する際、切断箇所 の墨出しをしてベビーサンダーで切断作業中、コンクリート内部の鉄筋に切断歯が当たり、工具が跳ね、回転している切断歯が手首に当たった。	40	8	30201	10～ 29
98	2013	10	5～6	原料仕込職場にて、機械を清掃中、ローラーを拭いていたところ、誤ってリミットスイッチに触れた為、感電し、手人差指を負傷した。	41	13	170101	50～ 99
99	2013	10	15～ 16	作業の移動中、段差(電源用カバー)で躓き、足を捻挫した。	38	2	11209	10～ 29
100	2013	9	9～ 10	仕分機をクレーンで吊り上げ作業中、バランスを崩し、仕分機が転倒し、足に当たり、骨折した。	56	5	30302	10～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。